

## 令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### メガイアワビ太平洋中・南部

対象水域	太平洋中・南部	参画機関名	水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部、千葉県水産総合 研究センター、東京都島しょ農林水産 総合センター大島事業所、神奈川県水 産技術センター、静岡県水産・海洋技 術研究所伊豆分場、三重県水産研究 所、和歌山県水産試験場、徳島県立農 林水産総合技術支援センター水産研 究課、大分県農林水産研究指導センタ ー水産研究部、宮崎県水産試験場、全 国豊かな海づくり推進協会
------	---------	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_266.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_266.pdf)）、次回令和 8 年度を予定

#### (1) 調査の概要

- ・ 機構は生態学的特性に関する文献情報および漁業関連情報の収集を実施
- ・ 全国豊かな海づくり推進協会は県別漁獲情報の収集を実施
- ・ 各都県は漁場別漁獲状況調査、漁獲情報収集調査、生物情報収集調査を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・ 千葉県では1992～2023年の主要漁場別漁獲量およびCPUEを収集済み  
2024年以降の漁獲量を収集中  
2015～2023年度の県独自の資源評価結果を収集済み
- ・ 東京都では1952～2022年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の主要漁場別漁獲量を収集済み  
2023年以降の漁獲量を収集中
- ・ 神奈川県では2015～2023年の主要漁場別漁獲量を収集済み  
2024年以降の漁獲量を収集中  
2016～2023年度の県独自のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の資源評価結果を収集済み
- ・ 静岡県では2001～2022年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の漁獲量を収集済み  
2023年以降の漁獲量を収集中

- ・三重県では1994～2009年、2016～2024年の主要漁場別漁獲量を収集済み  
2024年以降の県内漁獲量を収集中  
2022年度の赤アワビ（メガイアワビ、マダカアワビ）としての県独自の資源評価結果を収集済み
- ・和歌山県では2016～2023年の主要漁場別漁獲量を収集済み
- ・徳島県では1999年～2023年の主要漁場別漁獲量およびCPUEを収集済み  
2024年以降の漁獲量を収集中
- ・大分県では1957年～2022年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビ、トコブシを含む）の漁獲量を収集済み  
2023年以降の漁獲量を収集中
- ・宮崎県では2020年～2023年のあわび類（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビを含む）の漁獲量を収集済み

### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照 ([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_266.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_266.pdf))
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

### (4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和8年度に作成予定
- ・都県によりデータの集計方法が異なる（クロアワビ、メガイアワビ、マダカアワビがあわび類として合算等）ため、メガイアワビの漁獲量の算定や資源動向の把握が困難である